

IIBC NEWSLETTER

March 2022 Vol. 145

英語がもたらした 私のターニングポイント

p10 俳優 平 岳大さん



Special Interview

「TOEIC® 会員」に実施したアンケートからひとくち
モチベーションが低くても、
英語学習を継続する方法とは

p2 大人のための英語塾 LEARN & TRAIN
代表 高井 好美氏



IIBC エッセイコンテスト アルムナイ特別賞審査員に聞く 大学生となったアルムナイが語る “受賞後に見えたもの” “高校生へのメッセージ”

p8

小栗 章太郎さん

近 由梨子さん

村瀬 結子さん



English Frontline
日本国内で暮らしながら
週3回必ず英語を使い交流する
シェアハウス p14

「English Cup 2021」
を開催 p6



モチベーションが低くても、 英語学習を継続する方法とは

この度IIBCは、英語学習とモチベーションとの関係について、「TOEIC® 会員」の方を対象にアンケート調査を行いました。大人のための英語塾LEARN & TRAIN代表の高井好美氏に、アンケート調査から読み取れることを分析していただくとともに、モチベーションが低いときでも英語学習を継続するためのヒントを伺いました。

「好き」「楽しい」だけでは、英語学習は続けられない

英語学習は継続が大事であるということについては、皆さんに賛同していただけたと思います。では、継続を実現する上で、ポイントになることは何かという問いに対しては、多くの方が「高いモチベーションを持っていること」と答えられるのではないのでしょうか。

確かに、今回IIBCが「TOEIC® 会員」の方を対象に実施したアンケート調査でも、「モチベーションが高い」と答えた方のうち、毎日英語学習をしている人の割合は61.1%で、これに、平日は毎日学習しているという方を合わせると、74.5%に達します(図1参照)。

アンケート調査では、「モチベーションが高い」「どちらかという方」という方に対して、なぜモチベーションが高いのかについても尋ねています(図2参照)。それによると、「英語を使ってやりたいことや夢があるから」「英語を学習する必要性が高い状況にあるから」と答えた方が多いという結果になりました。つまり「英語力を身につけて留学したい」といった明確

な目的意識や、「今の英語力では、日常業務に支障を来してしまう」といった強い動機が、そうした方々のモチベーションの源泉となっていると考えられます。

一方、この設問に対し、モチベーションが高い理由として、「英語が好きだから」「英語学習が楽しいから」と答えた方もそれなりに多くいます。英語学習において、この「好き」「楽しい」という気持ちはもちろん大切です。人は「好き」で「楽しい」ことには、夢中になって取り組めるものです。

ただし私は、「好き」「楽しい」だけでは、長期にわたってモチベーションを維持することは難しいと考えています。

人間は感情の生き物です。ちょっとしたことで気持ちが前向きになったり、後ろ向きになったりします。今は英語が「好き」で「楽しい」方も、ずっと楽しい状態が続くわけではありません。何回受験しても、なかなかテストのスコアが上がらないときなどは、誰も英語を学習することが、つらくて嫌になるものです。そのため「好き」「楽しい」だけに頼っていると、どうしても挫折しやすくなります。一方、明確な目的意識や強い動機があれば、たとえ苦しいときでも、粛々と英語学習を継続することができます。

今回のアンケート調査では、英語学習のモチベーションが低い方にも、その理由を尋ねています(4ページ図3参照)。一番多かったのは、「英語学習に楽しさを見付けられないから」という答えでした。この答えからも分かるように、私は、モチベーションの低い方の多くが、英語学習に「楽しさ」を求めようとしているのではないかと考えています。英語を学習していて、誰もが楽しさを感じられるわけではないですし、普段は楽しいと感じている方でも、楽しくないときが必ず訪れます。特に、英語学習初・中級者の場合、英単語や文法を覚えるといった、知識を習得する学習が中心になりますから、そこに楽しさを見付けるのはなかなか難しいものです。

モチベーションを上げたいのであれば、「楽しさ」を求めるより、「なぜ自分は英語を学習するのか。学習することでどうなりたいのか」という目的や動機を、自分の中ではっきりとさせることが重要だと思っています。



学習をする「時間」「場所」「内容」を決める

では、英語学習が好きでも楽しくもないし、学習の目的や動機も今ひとつ弱いという方は、どうすればいいのでしょうか？
 こういう方たちが英語学習を長続きさせるのは、難しいことな

のでしょうか――。

そんなことはないと思います。

実は、「英語学習において、モチベーションは必ずしも必要なものではない」と、私は考えています。あるに越したことはないのですが、なくても問題ありません。

図1 Q：英語学習の頻度を教えてください。

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある

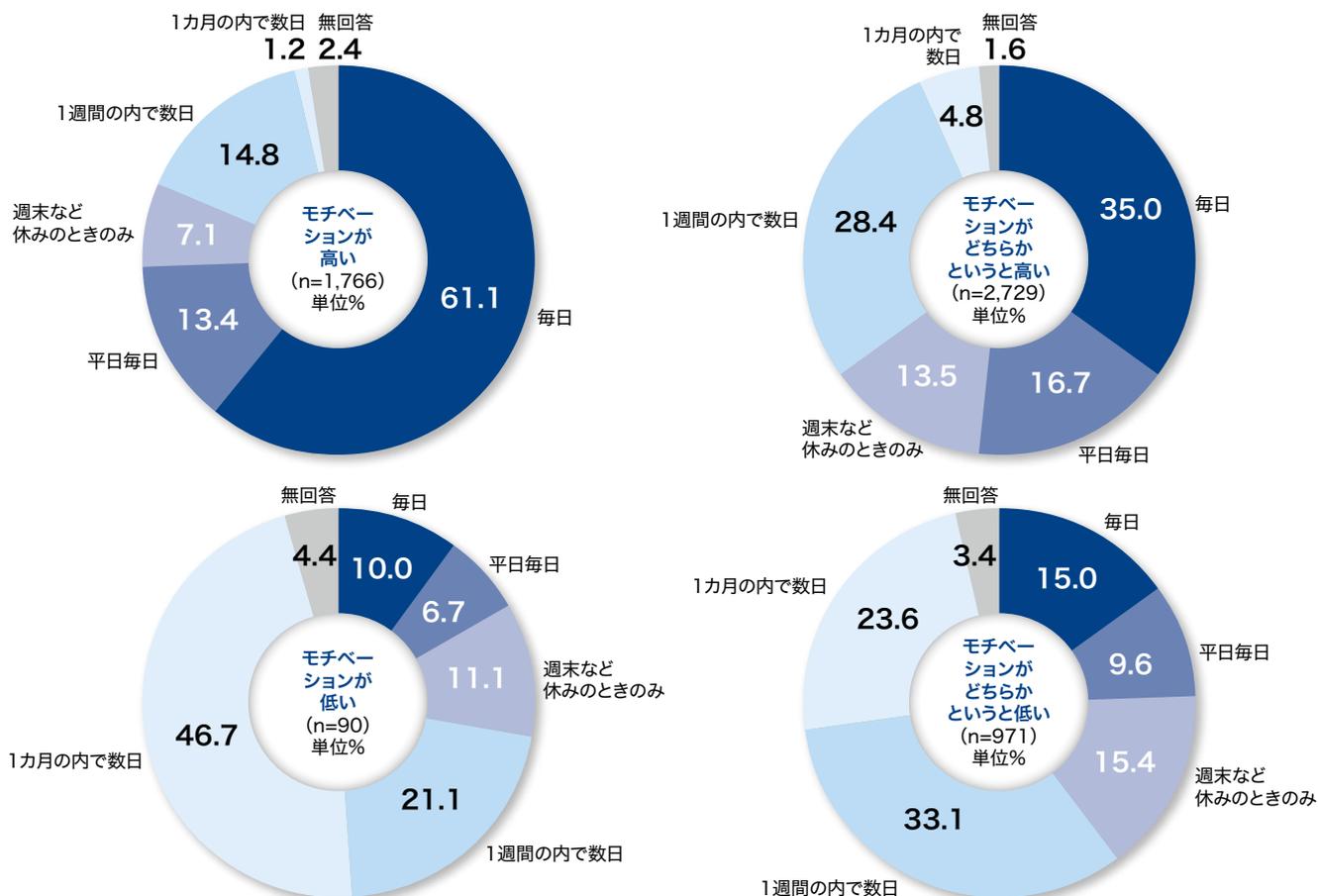


図2 Q：なぜモチベーションが高いのか。考えられる理由・状況を教えてください。(複数回答可)

※ほかの設問で、現在の英語学習のモチベーションの状態が「高い」「どちらかという高い」と回答された方

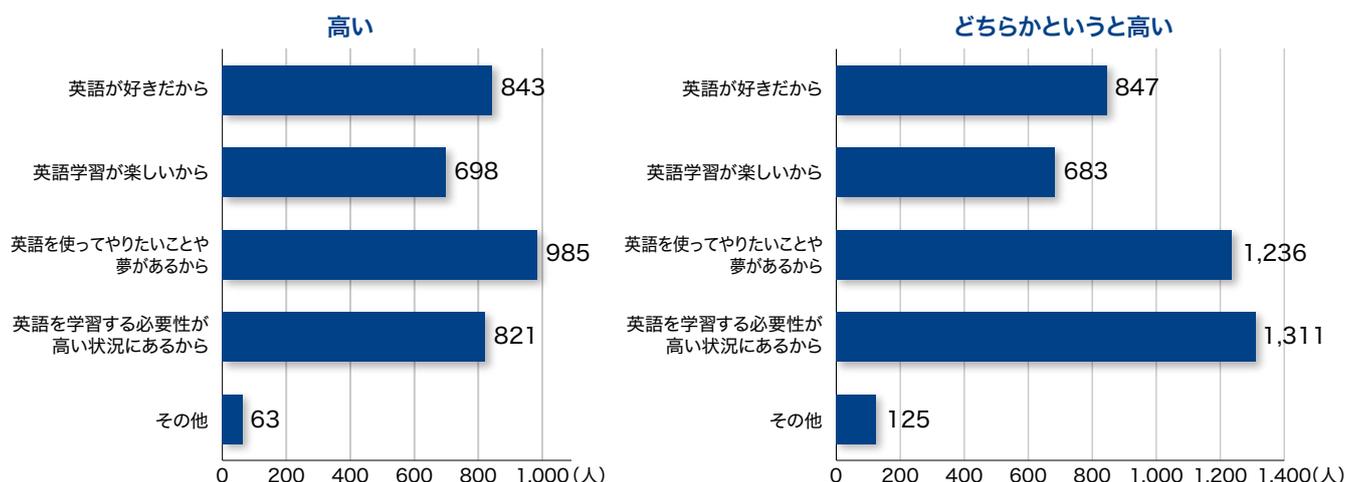
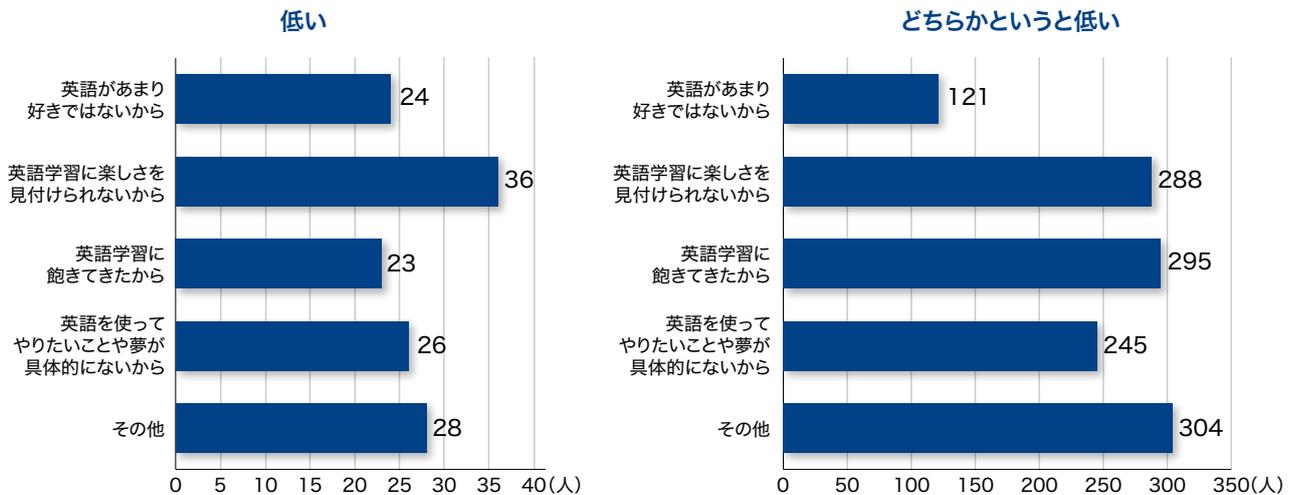


図3 Q：なぜモチベーションが低いのか。考えられる理由・状況を教えてください。(複数回答可)

※ほかの設定で、現在の英語学習のモチベーションの状態が「低い」「どちらかという低い」を回答された方



もう一度、3ページの図1を見てください。モチベーションが低い方の中でも、「毎日」学習している方が10.0%、「平日毎日」学習している方が6.7%、合わせて16.7%います。16.7%といえば、およそ6人に1人の割合です。モチベーションの有無にかかわらず、コツコツと英語学習を続けている方がこれだけいるのです。

この16.7%に入るためには、環境設定がとても大切になってきます。環境設定とは、まず学習をする「時間」と「場所」を決めることです。例えば、毎日退社後は、お気に入りのカフェに寄って1時間ほど英語の学習をする、というように、モチベーションが高いときでも低いときでも、決めた「時間」になったら決めた「場所」に行き、学習を始めるのです。

このとき、学習する「内容」を決めておくことも大事です。いろいろな教材をつまみ食いしているうちに、時間ばかりが過ぎていき、結局何も身につかなかったということがよくあります。「このテキストで勉強しよう」と決めた上で、今日はセクション1の勉強、明日はセクション2の勉強というように、取り組む範囲も決め、それを粛々とこなしていくことが大切です。

とはいえ、中には「仕事と育児の両立などでとても忙しく、決めた時間に決めた場所で勉強するのは難しい」という方もいると思います。しかし、そういう方でも、「お風呂に入る」「夕食を作る」といった、毎日必ずやっていることがあるはずですよ。お勧めは、「お風呂が沸くまでの時間を、英語タイムにあてる」というように、毎日必ずやっていることの前後に、学習時間を組み込むことです。また英語学習は、必ずしも机に向かって取り組む必要はなく、「キッチンで夕食を作りながら、英語の教材を聞く」というように、ほかのことをしながらの「ながら学習」も可能です。学習時間の確保に悩んでいる方は、隙間時間を上手に活用してください。時間は短くても構いません。大切なのは、毎日続けられる環境を設定することです。

私たちが毎日仕事をすることができているのも、環境設定の

おかげです。仕事に対して、やる気満々の日があれば、「今日はあんまり働きたくないな」という日もあるものです。しかし、よほど心身が不調なときは別ですが、多くの方は、働きたくないからといって休んだりはしません。時間が来れば働き、やるべきタスクに取り組むものです。

面白いのは、モチベーションが低い日でも、パソコンを立ち上げ、メールをチェックして、といったことをしているうちに、段々と気持ちの仕事の方へと向かっていくこと。だから私たちは、仕事を続けることができています。

学習の可視化によって成長を確認する

また、高いモチベーションを持たず、英語学習が長続きしない方に、学習の可視化ということもお勧めしています。

一番簡単なのは、毎日の学習時間を記録することです。記録を取り始め、毎日勉強している状態が一定程度続くと、人は記録を途切れさせたくないと思うようになります。「今日はやる気が起きないな」というときでも、記録のことを考えると、「やっぱり今日も勉強しよう」という気持ちになるものです。

英語学習をしても、すぐに成長を実感するのは難しいという点も、学習の継続を困難にさせている大きな要因の1つですが、ここでも可視化が大切になります。例えば、音読の練習をしている方であれば、英文を読み上げている自分の声を録音してみると良いでしょう。そして1カ月後に録音を聞き直してみます。すると「1カ月前の自分と比べて、今の自分は、英文をすらすらと読むことができるようになってきている」と、成長を実感することができるでしょう。

また私は、自分が運営している英語塾の受講者の方には、必ずTOEIC® Testsを受験してもらうようにしています。自分の学習状況を可視化する上で、テストほど効果的な手段はないからです。特にTOEIC® Testsは、仕事や日常生活の中で、実践

図4 Q：モチベーションを高める英語の学習方法やツールがあれば教えてください。(抜粋)

- 英語を母語としない者同士での英会話
- 高校生の息子と中学生の娘の宿題などを一緒にやること
- オンライン英会話
- スマートフォンアプリ
- 習慣化促進アプリ
- YouTube、Instagram
- SNSなどでの英語学習の情報収集
- 外国映画やドラマを見る
- 英語論文を読む
- ゲームなどで言語を英語にして学習する
- 英語圏で好きなアーティストや俳優を見付ける
- 会社でのTOEIC® Program勉強会、英会話レッスン受講
- ひたすらTOEIC® Programの公式問題集で学習する
- 映画やスポーツを英語で鑑賞する
- 英語で書かれた技術的な資料を読む

的に使える英語力がどれだけ身についているかを測るテストですし、できているパートとできていないパートが具体的に分かるため、受講者の方にとって、とてもメリットがあると言えます。そのうち、私から言わなくても、皆さん自主的に、TOEIC® Testsをどんどん受けてくださるようになります。

英語学習に対して真面目な人ほど、「自分の英語力はまだまだだ。もっとがんばらなければ」と考えがちです。向上心は大切ですが、その気持ちが強すぎると、学習を続けるのが苦しくなってしまう。そのようなときに可視化した過去の記録を見直せば、半年前や1年前の自分と比べて、着実に成長している自分を確認することができます。学習の可視化は、がんばる自分を支える心のビタミンなのです。

学習意欲を維持するための様々な工夫

今回のアンケート調査で、もう1つ印象的だったのが、英語学習のモチベーションが高い方は、学習意欲を維持するために様々な工夫をされていることです(図4参照)。例えば、「英語を母語としない者同士での英会話」「高校生の息子と中学生の娘の宿題などを一緒にやる」といったように、誰かと一緒に英語学習をしている方が多くいました。確かに、英語学習の仲間がいることは刺激や励みになります。また1人だけで学習するのは異なり、簡単にサボれなくなります。英語学習を継続させ

るための工夫としても効果的です。

そのほか、オンライン英会話、アプリ、YouTube、SNS、外国映画やドラマなど、多くの方が自分に合ったツールを見つけて英語学習をしています。今の時代はいろんなツールがありますから、その中から長続きしそうなものを探し出すのは、それほど難しいことではありません。

繰り返しになりますが、私は英語学習で一番大切なのは継続だと思っています。モチベーションが低い方も、環境設定と可視化によって、継続的に英語学習ができる状態を作り上げてみてください。学習を続けることで、英語力が身につけるとともに、「リスニング力が大分ついてきたから、いずれはハリウッド映画を字幕なしで理解できるようになりたい」「英語を生かせる部署に異動したい」といった、目標や動機が見えてくるかもしれません。

そうなったらしめたものです。明確な目的意識や強い動機があれば、元気な日もそうでない日も、勉強が楽しい日も楽しくない日も、粛々と勉強を続け、着実に成長の階段を上っていくことができるようになるからです。

今は、英語学習に対するモチベーションが低くても構いません。まずは、続けるための環境作りと可視化をすることから始めてみてください。

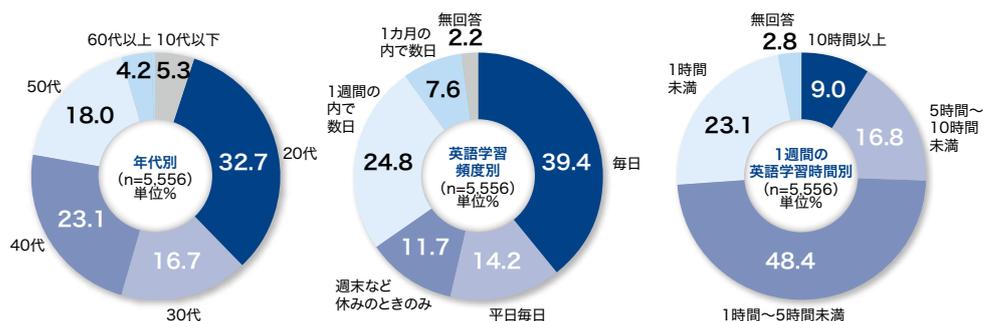
皆さんの英語力が向上するよう、心から応援しています。

アンケート調査の概要

調査対象：2021年
1月回～10月回で
TOEIC® L&Rまたは
TOEIC® S&Wを
受験された
「TOEIC® 会員」の方
調査方法：メール配信
調査時期：2021年11月9日～
11月16日
回答人数：5,556人

回答者の全体像

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある





2020年を上回る14団体が参加 「English Cup 2021」を開催

英語学習の必要性を感じていても1歩踏み出せずにいる、1人では学習が続かないといった方々向けに、ワクワク感を持ちながら取り組むことができる、複数企業・横断交流型の英語強化合同イベント「English Cup 2021」を開催。2020年を上回る14団体にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。

本大会は、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社ナガセ、IIBCの3法人による共同開催イベントです。

仲間と英語力向上を目指す

2020年に続き、21年も「English Cup 2021」を開催。非接触型のバーチャル大会で、4カ月間(21年7～10月)の英語力の伸長を競い合いました。複数団体が参加するため、競争意識を高めるとともに、仲間と支え合い、モチベーションを高めながら取り組むことができ、ビジネスパーソンの英語コミュニケーション力を底上げしていくことが可能です。

20年よりも参加団体が増え、株式会社安楽商店、DIC株式会社、DICグラフィックス株式会社、東亜建設工業株式会社、東日本旅客鉄道株式会社 東京電気システム開発工事事務所、株式会社みずほフィナンシャルグループ(社名50音順)をはじめとした、14団体が参加しました。

本大会では、TOEIC® L&R Test部門と、TOEIC® Speaking Test部門に分かれ、個人戦と4～6名で1チー

ムのチーム戦を実施(TOEIC® Speaking Test部門は個人戦のみ)。参加者は期間中に行われるIPテスト、公開テストのいずれかを受験し、過去2年以内のスコアと、大会期間中の最高スコアの伸長度合いを計算し、順位付けが行われました。

参加者の学習を支援するイベントも開催

大会期間中には、参加者の英語学習への意欲をより高めるため、株式会社ナガセが運営する東進ビジネススクールの講師3名(安河内哲也氏、松本ミチロー氏、ATSU氏)によるWEB勉強会を開催。さらに、参加団体の担当者を対象に、各団体の交流を目的としたWEB座談会「English サミット」を開催し、情報交換などを行いました。

同年12月には修了式・表彰式を行い、盛況のうちに終了しました。

チーム平均スコア **93点**
620点から713点に **UP**



TOEIC® L&R Test部門
チーム戦1位
(チーム名: 配1)

東日本旅客鉄道株式会社
東京電気システム開発工事事務所
工事管理室
伊藤 徹氏
石井 陽子氏

受賞者の声

スコア **50点**
110点から160点に **UP**

TOEIC® Speaking Test
部門
個人戦1位

みずほリサーチ&テクノロジーズ
株式会社
IT開発本部
荻原 綾子氏



1日も休まず学習を継続

私の英語学習の課題は「継続すること」でしたので、English Cup 2021では「とにかく毎日学習する」を個人目標にしました。途中、仕事で多忙な日などは怠けたい気持ちも芽生えましたが、チームメンバーの励ましやアドバイスのおかげで1日も休まず学習を継続できました。今回初めて英語学習の楽しさを実感できたので、「やればできる!」の気持ちでこれからも楽しみながら英語力向上を目指します。(伊藤氏)

英語ができるようになったらいいなという思いがあるだけで、本腰を入れて勉強していませんでしたが、English Cupを機に自分の弱点を克服して得点を上げるべく勉強に励みました。勉強すればするほど、できるようになることと足りないことがどんどん出てきて、英語の深さと面白さを実感しました。これからも継続して勉強し、英語を使って仕事ができるようになることを目指していきたいと思えます。(石井氏)

モチベーションアップにつながった

TOEIC® Programの受験からしばらく遠ざかっていましたが、2021年4月に育児休暇から復職し、現在の実力を確認するべく、また受験してみようと思っていたところにEnglish Cup 2021の開催を知って、参加を決めました。

English Cupでは、自分の実力が複数企業の中でどの位置にあるかが分かり、また2回以上受験した中でのTOEIC® Testsのスコアの伸び率で順位が決まるという点が面白く、モチベーションアップにもつながりました。

TOEIC® L&R Test部門もエントリーしましたが、残念ながら2回目でスコアが下がり、次回以降リベンジしたいと考えています(目指せ、950点!). 今回、TOEIC® Speaking Test部門で表彰されたことを機に、仕事において英語で話す機会が増えればうれしいですし、英語の勉強に興味のある社員と交流、切磋琢磨して一層の英語力向上ができればと思います。

参加企業の声

株式会社安楽商店 人事総務部 広報担当
安楽 早苗氏



競い合うことでやる気が向上

弊社では2019年より社員の本格的な英語教育に力を入れ始め、ネイティブ講師によるビジネス英会話レッスンやオンライン英会話の補助などを取り入れており、20年に会社として初めてTOEIC® S&Wの社員全体受験を始めました。TOEIC® S&Wの受験は1年間の英語学習の効果を測る指標として有用であると考え、毎年受験をすることにしようと考えていた矢先、IIBCの担当者の方よりEnglish Cupの企画をお持ち掛けいただき、是非参加してみようと思ったのがきっかけです。また安河内先生からの「同じ志を持った仲間がいた方が更にモチベーションが保てます」というアドバイスを基に、同時開催の社内イベントとしてAbo Shoten English Cupと称し、ツーマンセルでスコアの上昇率を競い、景品を出すという企画も行いました。従業員がやる気を出して互いに競い合ってくれるのでモチベーションアップにはとても良いと思いました。今後も社内の英語力強化のため社内外いろいろなイベントに参加、企画していきたいと考えています。

東日本旅客鉄道株式会社 東京電気システム開発工事事務所(東電所) 海外事業推進室
塩谷 敦子氏



仲間と学習を楽しむことができた

当部署は英語とは縁遠いように見られがちですが、実はインドをはじめとする海外の鉄道建設プロジェクトに携わった社員もおり、海外の企業や団体と交流する機会は、コロナ禍以前の数年間で増えていました。

日頃より社員には、言語の壁に阻まれることなく、自ら積極的に社外の世界に触れ、視野を広げ技術者としての器を大きくする取り組みを推奨しており、それをサポートするために東電所では、オンライン英会話、TOEIC® ProgramのIPテスト、講演会等々、様々な英語学習の取り組みを実施してきました。とはいえ、個々に努力するだけでは意欲も続かず、行き詰まったときには刺激を与え、鼓舞し合う仲間が必要です。そこで、チームでも競い合うことができるEnglish Cup 2021に参加しました。

開催期間中には参加者同士がオンライン座談会を開催するなど、英語学習の悩みや有用な学習方法を共有し、モチベーションを上げていきました。さらにTOEIC® Testsのスコアを指標の1つとして、仲間と「学習を楽しむ」ことができたのではないかと思います。

共同開催企業からのメッセージ

株式会社みずほフィナンシャルグループ
グローバル人事業務部
半澤 美友氏



〈みずほ〉では、グローバル化に向けた意識の醸成と、英語学習者の裾野拡大・底上げを目的として、2014年度にグループ横断の英語力強化イベント「MIZUHO English Cup」を立ち上げました。伸ばしたいスキルに合わせ、TOEIC® L&RおよびTOEIC® Speaking Test部門より選択し、チームまたは個人で一定期間TOEIC® Testsのスコアアップをランキング形式で競う場となっています。19年度までは、年代や職種に縛られることなく延べ6,000名の社員が上位を目指し、語学学習にゲーム感覚で取り組んできました。20年度より株式会社ナガセ様・一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会様のお力添えの下、社内の枠組みを超えて様々な企業の皆様と一体となり本イベントを実施しています。21年度は更に多くの企業の皆様にご賛同いただき、計14団体での開催となりました。

WEB勉強会などを通して、仲間やライバルとして英語力向上に取り組み、学びを共有することができる参加者の存在は、学習を継続する上で大きな支えや励みになると考えています。実施期間中は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発出され、人とのつながりを感じる事が難しい状況だったからこそ、改めて「English Cup 2021」の開催意義を感じられました。

共同開催企業からのメッセージ

株式会社ナガセ 東進ビジネススクール本部
英語教育推進部
後藤 尚子氏



当社は、みずほフィナンシャルグループ様の英語研修を担当しており、これまでに全受講生のTOEIC® L&Rスコアの平均で、内定者の方は約120点、従業員の方は約190点伸長するという研修を一緒に行っております。

2020年に引き続き、合同開催で本イベント運営をさせていただき、「講師陣が自慢の東進」として、実力派講師によるWEB勉強会や定期的な激励メッセージ提供など、参加者の皆さんのモチベーションを上げる仕掛けでサポートをしました。

WEB勉強会を担当した安河内哲也・松本ミチロー・ATSUの3名のカリスマ講師は受講生から絶大な人気があり、これまで多くの方のTOEIC® Programのスコアアップを実現してきた実力派ですが、今回も参加した皆さんより「英語の学習法が分かった」「スピーキングテストをもっとたくさん受験しようと思った」「グローバルに活躍する仕事をしたくなった」などのお声を多数いただきました。

WEB勉強会のような参加者の皆さんが定期的集まることのできる環境は、英語学習の優先順位を上げる効果があります。継続的に学習する仕組みを多くの方に活用いただき、完走していただくことにつながりました。

大学生となったアルムナイが語る “受賞後に見えたもの” “高校生へのメッセージ”

IIBCは、毎年開催している「IIBCエッセイコンテスト」を通じて、将来グローバルに活躍するであろう高校生を応援しています。2009年に第1回を開催し、受賞者も100人を超え、20年には、これまでの受賞者(アルムナイ)が審査する、アルムナイ特別賞を新設しました。21年に13回目を迎えた同コンテストで、アルムナイ特別賞審査員を務めた大学生の御三方に、受賞したことによって生じた変化、審査員としての感想、将来の展望、高校生へのメッセージを伺いました。

英語だけでなく、外国語へと興味が広がった

小栗 章太郎さん 慶應義塾大学 商学部 3年 第8回IIBCエッセイコンテスト日米協会会長賞 受賞 受賞作品：Beyond Language



日米協会会長賞を5年前にいただいたことは、今でも光栄に思っており、受賞したことによって「自分でも活躍できることがあるんだ」と自信が持てるようになりました。自分の英語が通用することも分かり、現在では中国語も学ぶなど、外国語に対して大きな興味を抱くようになってきました。

受賞によって受けた恩恵を、後輩となる高校生たちに伝え、背中を後押しすることができればと思い、これまでに数回、OBとして、IIBCエッセイコンテストの表彰式に参加してきました。そのような中、審査員募集のお知らせをいただき、迷うことなく応募したのです。

今回、アルムナイ特別賞の審査員として選んだ矢野絵理奈さんの作品は、全体としては静かで落ち着いた印象ですが、読んだ後に余韻が残り、読み返す度に味わい深くなる、すばらしいエッセイです。受賞した

ことが、今後の矢野さんの生活において、1つの糧になることを願っています。

私自身としては、中途半端な英語力で甘んじることなく、大学を卒業するまでには、教養のある英語を身につけたいと、日々研さんしています。特に英会話に力を入れており、毎日ウォーキングしながら、アウトプットのトレーニングを行っています。大学を卒業した後は、企業の中で、語学力が生かせる仕事に就くことができればと考えています。

英語学習を継続していく中で、英語とは、外の世界を見に行くパスポートだと感じるようになりました。物理的な旅をしなくても、英語を身につけることで、知識としての領域が広がり、自分の世界を開いていく格好のツールになるからです。特にライティング能力の向上は、単語や構文を定着させるため、会話や聞き取りなどにも有効です。IIBCエッセイコンテストに参加することは、書く力が身につくだけでなく、語学学習継続のモチベーションを高めることにもなるので、是非、高校生の皆さんは、チャレンジしてみてください。陰ながら応援しています。

ほかのことにも挑戦したいという気持ちがあふれ出た

近 由梨子さん 早稲田大学 国際教養学部 1年 第10回IIBCエッセイコンテスト優秀賞 受賞 受賞作品：An Eye-Opener for Me



3年前に優秀賞を受賞したとき、まさか自分が選ばれるとは思っていなかったもので、飛び跳ねて喜んでいたので今でも覚えています。受賞したことによって自信が付き、ほかのことにも挑戦しようという気持ちがあふれ出て、人生が変わったような感じがしました。例えば、近隣に在住する外国人向けのボランティアに参加して、これまで話したことがないような方とコミュニケーションすることで、いろんな異文化を知りたいと思うようになりました。また、ほかの受賞作品を読んで、表現方法や文章構成などがユニークだと思い、もっと英語学習をしたいというモチベーションにもなりました。

このような経験を、IIBCエッセイコンテストに参加している高校生たちに伝えることで恩返しをしたいと思い、今回、審査員に応募しました。私が受賞したときに、小栗さんがOBとしてスピーチされていたの

を聞いて感銘を受けたことが、よりそのような気持ちを強くしたのだと思います。

アルムナイ特別賞の審査員として選んだ矢野絵理奈さんの作品は、しっかりとした自分の考えを素直に伝えているため、読んだ人の心に残り、かつ、すっきりとしてきれいな英文でありながら比喩が面白く、読んでいても飽きることがありません。このような矢野さんのエッセイは、今後同コンテストに参加する高校生たちに対し、影響を与えていこうと感じています。

私自身は今、経済に興味を抱いており、日本語に翻訳されていない英文の専門書を多読したり、日記を英文で書いたりするなど、日常生活の一部として英語を取り入れることで、その能力を高めています。今後は、海外に出て、国際的な仕事をしていきたいと考えています。

日本の高等学校の授業では、簡単な英文しか書かないと思いますので、同コンテストに参加することで、自分の思いを伝えるための英文を書くことに挑戦し、是非、知識を広げていただければと思っています。

認められたことが、恐れずに前へ進むモチベーションに

村瀬 結子さん 学習院大学 文学部 1年 第12回IIBCエッセイコンテスト特別賞 受賞 受賞作品：Culture through the looking glass



私は、小学校5年までアメリカに住んでいたのですが、英語も日本語も、どちらも使いこなせていないという思いがあり、ずっと自分が使う言葉にコンプレックスを抱いていました。そのような中、前回(第12回)のIIBCエッセイコンテストで特別賞をいただき、自分の英語を認めてもらえたことがとてもうれしく、それが自信へとつながり、恐れずに言葉を使っていくというモチベーションになりました。

大学では心理学を専攻しながら、英語の論文を読んでディスカッションするといった授業に参加したり、ほかの学生の倍近く英語の授業を選択したり、さらには、塾講師のアルバイトで小学生(帰国子女)の英語のエッセイの添削をしたりするなど、日々、英語力の向上に努めています。このようなことができるのも、受賞で得た自信があるからだと思っています。

また私が受賞したときの表彰式では、コロナ禍での制限がある中、すてきなエッセイを書くほかの受賞者や、アルムナイ特別賞の審査員の方と出会い、有意義な話をすることができました。そのような場にまた参加したいと思い、審査員に応募しました。

私たちが審査員として選んだ矢野絵理奈さんのエッセイは、考えがよく練られていて、過度に作り上げた感じがなく、率直に書かれており、是非、直接お会いして話してみたいと感じました。わざとらしさは読者に伝わってしまうものです。多くの資料に目を通したり、演劇でも小説でも音楽でもいいので、自分と同じような考え方をする人が表現しているものにたくさん触れたりしながら、自らの考えを整理して一度文章にしてみる。しばらくしてから読み直し、推敲して文章を磨いていくことで、必ず誰かの心に届く、自分が本当に伝えたいエッセイができるのだと、私は考えています。そういう点で、矢野さんの作品は参考になるはずですので、彼女のエッセイを読むことで、1人でも多くの高校生が影響を受け、同コンテストに参加されることを願っています。

■ 第13回IIBCエッセイコンテスト表彰式を開催



表彰式に出席された7名の皆さん(一部オンライン参加)

第13回IIBCエッセイコンテストでは、これまでと同様に「私を変えた身近な異文化体験」をテーマにした英語のエッセイを募集しました。本選への応募218作品の中から9名の受賞者を決定し、2021年11月6日(土)、ホテルニューオータニ(東京都千代田区)にて表彰式を開催。新型コロナウイルス感染症対策として、会場への出席人数に制限を設け、オンラインでの中継も実施しました。

これからもIIBCは、コンテストを通じて、未来で活躍されていく高校生を応援してまいります。

受賞者

👑 最優秀賞

矢野 絵理奈さん
慶應義塾湘南藤沢高等部 1年
タイトル：Face the Discomfort

👑 優秀賞

溝口 理子さん
渋谷教育学園渋谷高等学校 1年
タイトル：Everybody Needs Some "Osekai" In Their Life

👑 優良賞

木下 桜さん
不二聖心女子学院高等学校 3年
タイトル：The Bridges to True Peace

※受賞時の学年を記載

👑 特別賞

相原 侑汰さん
東京学芸大学附属国際中等教育学校 5年
タイトル：Making the whole world my "comfort zone"

村田 キムさん
坂出第一高等学校 2年
タイトル：A Smile Has No Language Barriers

ミルン アラナ 由真さん
茗溪学園 3年
タイトル：Don't Judge a Book by Its Cover

速水 思惟さん
近江高等学校 1年
タイトル：Something important is close to me

伊佐田 真礼さん
東京音楽大学付属高等学校 2年
タイトル：The Magic of a Simple Question

👑 日米協会会長賞

矢野 絵理奈さん
慶應義塾湘南藤沢高等部 1年
※最優秀賞と同時受賞

溝口 理子さん
渋谷教育学園渋谷高等学校 1年
※優秀賞と同時受賞

梅村 知仁さん
聖光学院高等学校 2年
タイトル：Doing is more difficult than knowing

👑 アルムナイ特別賞

矢野 絵理奈さん
慶應義塾湘南藤沢高等部 1年
※最優秀賞・日米協会会長賞と同時受賞

👑 奨励賞

39校、1,753名

- ※ 本選：1校2名(2作品)までの応募が可能。受賞者9名を決定
- ※ 奨励賞：1校20名(20作品)以上の応募校に贈られる賞
- ※ アルムナイ特別賞：過去の受賞者が選んだ1名(1作品)に贈られる賞
- ※ 日米協会会長賞：一般社団法人 日米協会より本選応募作品の中から、国際理解や国際交流の観点で優れた3名(3作品)に贈られる賞

本選受賞作品、および奨励賞に参加された学校は、IIBC公式サイト (https://www.iibc-global.org/iibc/activity/essay/2021_result.html) でご覧いただけます。



写真提供/ORPHe

英語がもたらした私のターニングポイント 第13回

40歳を過ぎて海外作品に挑戦 英語力が道を切り開いた

NHK大河ドラマ「真田丸」などをはじめ、多数のドラマや映画、舞台に出演されている俳優の平岳大さん。2017年から海外作品のオーディションを受けるようになり、BBC（英国放送協会）制作のドラマで主演を務めたり、ハリウッド映画に出演したりと、活躍の場を広げています。40歳を過ぎてからの海外挑戦を、成功へと導いた理由の1つは、学生・社会人時代に身につけた英語力だったそうです。

●俳優 平岳大さん

Profile

ひら・たけひろ
1974年東京都生まれ。15歳で単身渡米し、現地の高校に留学。ブラウン大学卒業後、コロンビア大学大学院に進学し、その後、日本のファンド会社などに勤務。2002年俳優に転身し、三島由紀夫原作の舞台「鹿鳴館」でデビュー。NHK大河ドラマ「篤姫」「真田丸」や、映画「関ヶ原」をはじめ、舞台、ドラマ、映画に多数出演。近年では、海外に拠点を移し、BBCとNetflixが共同制作したドラマ「Giri / Haji」や、映画「G.I.ジョー：漆黒のスネークアイズ」に出演するなど、活躍の場を広げている。

●学生や社会人のときに磨いた英語力が 俳優としての海外挑戦に役立つ

2002年に俳優としての活動を始め、様々な日本の映画やドラマ、舞台に出演しましたが、18年以降は海外作品へとシフトしています。19年には、BBCとNetflixが共同制作したドラマ「Giri / Haji」に、死んだはずの弟を追ってロンドンに渡る主人公の刑事役で出演しました。同年末にはハワイに居を移し、最近では、日本でも劇場公開された「G.I.ジョー：漆黒のスネークアイズ」に出演。22年にHuluで公開が予定されている、ドイツの大作ドラマ「THE SWARM」にも出演し、21年に収録が行われました。

海外の作品に出演するためには英語力が欠かせませんが、俳優である両親（平幹二郎さんと佐久間良子さん）のことが知られていない場所に行きたい、と高校生のときから渡米していたことが役立ちました。渡米した当初は語学力がなかったので、とにかく自分の周囲から日本語を排除。英英辞典を使い、英語で日記を書き、「今日はあれをしななければいけない」といった独り言も英語で考えるようにしました。すると、1年位で不自由なく話せるようになったのです。そのままアメリカの大学と大学院に進学。その後、日本のファンド会社に就職し、英語を使った業務に従事していました。俳優として海外挑戦をするために、英語力を身につけようと思っていたわけではないのです。

が、これらの経験が後々力になっていったのです。

結局、5年間サラリーマン生活を送りましたが、次第に俳優をやってみたいという気持ちが高まり、27歳で俳優に転身。少しずつ舞台やドラマに出演する機会をいただくようになっていきました。

海外の作品に出演したいと考え始めたのは、30歳を過ぎてから。04年に、蜷川幸雄さんが演出した「ハムレット」のイギリス公演に出演したことが、1つのきっかけとなりました。劇中劇の女形という小さな役ではありましたが、主演俳優の方が毎朝楽屋を回り、他のキャストとコミュニケーションを取るような、日本とは異なるカルチャーを目の当たりにして、興味を持ったのです。

ただ、海外作品への出演をメインにしていくためには、オーディションで半年ぐらい海外にいる必要があると聞き、二の足を踏んでいました。

そんな僕の背中を押したのが、19年に出演したアメリカの映画「Lost Girls & Love Hotels」。主演女優の方と、英語で台本の読み合わせをしたときに、せりふのキャッチボールがスムーズにでき、これまでにないくらい、演技が楽しいと思えたのです。そこで、事務所を思い切って辞め、海外作品のオーディションを受け始めました。その後の出演作品が何も決まっていなかったのに、周囲からは反対されましたが、幸運なことに「Giri / Haji」のオーディションを通過。一歩踏み出したからこそ、主演という大役を得ることができました。

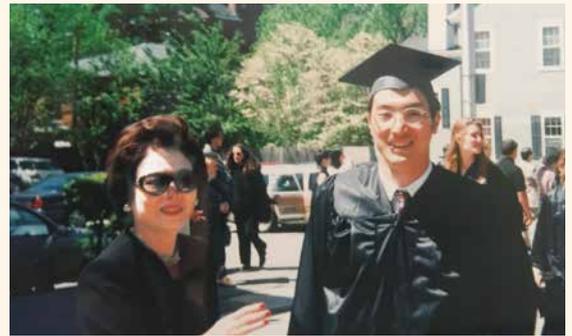
● **どんな国・地域の人たちにも伝わる芝居をしなくてはならないと気付かされる**

海外の映画やドラマの仕事は、日本とはまた違う難しさがあります。みんな自己主張が激しいので、こちらも「負けてはいられない」という気持ちを持ちながら、自分のポジションはこうだ、と主張しなければやっていけません。しかし、海外作品に出演することは、その苦勞を補って余りあるほどのメリットを僕にもたらしてくれました。

1つは、キャリアの選択肢が大きく広がったことです。ハリウッド映画の有名なシリーズ作品をはじめ、多くのオーディションの話が回ってきますし、そのほかにも思いも寄らないチャンスが巡ってくる場合があります。例えば、「THE SWARM」に関しては、ある日突然初対面のプロデューサーからオファーを受けました。「Giri / Haji」をご覧になり、目を付けていただいたようです。

もう1つの大きなメリットは、外国人俳優の演技に対するアプローチや考え方に数多く触れたことです。彼らは十人十色な方法論で芝居に臨んできます。

例えば「Giri / Haji」のときは、ほとんどせりふを覚えて来ない俳優がいました。撮影中は「グダグダだな」と思ったのですが、完成した映像を見ると非常に出来が良いのです。その人はちゃんばらんな役だったので、カメラが回っていないときも、あえてそうしていたのでしょう。



アメリカで通った高校の卒業式。母の佐久間良子さん(写真左)と

監督からの演技指導でも、目から鱗^{うるこ}が落ちる出来事がありました。「THE SWARM」では日本語のせりふもあるのですが、日本語が分からないドイツ人の監督から、「そのせりふの気持ちはそうじゃないよね」と指摘されたのです。それで気付いたのは、せりふを言うときの気持ちを明確にしていないと、多様な国・地域の人たちが見る作品では伝わらないということ。同じバックグラウンドを持つ者同士でしか通じないような、なんとなくの雰囲気では演じてはいけません。

このように、外国人の演技に対する考え方に数多く触れることで、「自分はどう演ずるのか」「自分はどんなポジションの役者であるべきか」などと考えさせられました。

● **英語を習得しただけで全てが変わるわけではない。だが確実に様々なドアが開ける**

今の目標は、「アメリカ人の役に抜てきされるような俳優になること」。そのためには、英語の学習や演技のトレーニングも必要ですし、人生経験を積む必要もあるでしょう。まだまだやることはたくさんありますね。

また、英語が話せると、仕事以外のチャレンジもしやすくなります。実は「Giri / Haji」の撮影のとき、妻と一緒に渡英したのですが、その大きな理由は妻が妊娠していたからです。家族がバラバラになるより、イギリスで出産の方がいいと判断しました。出産のときは、ベルギー人の医師、アフリカ系やインド系の看護師、アングロ・サクソンの助産師など、実にマルチカルチュラルな人たちに助けられました。子どもには、将来このようなマルチカルチュラルな環境で育てほしいと願うようになるほど、貴重な経験になりましたが、英語ができなければその選択には至らなかったでしょう。

英語を習得しただけで、全てが変わるとは思いません。しかし、様々なドアを開くことができるのは確かです。



「Giri / Haji」撮影の合間に談笑する平さん

ビジネスパーソンなどが英語学習を進め、TOEIC® L&Rといった英語試験でのハイスコアを目指す場合、まずは現状として正確に読む力が身についているかということが1つの大きな基準になります。ここで言う「正確に読む力」というのは、大学入試の標準的なレベルの英文を正しく理解できる力だと考えてください。これが身につけているかどうかで効率的な勉強の仕方も大きく変わってきます。

従来、日本の英語教育は読み書きに偏っており、そのせいで難しい英語を解読することはできるのに、簡単な会話もおぼつかない人が多いということが指摘されてきました。

これはある意味では真理を突いており、確かに難関大の学生などにはかなり難しい英文も自力で正しく読み解けるのに会話はからっきしという人もいます。しかし、このイメージが先行するあまり、逆のパターンに陥っていて、そこから抜け出せずに苦勞している人がいることが看過されているのではないかと思います。

つまり、「難しい英文が読めるのにリスニングやスピーキングは全くダメ」という人と並んで、「英語には多少慣れてはいるけれども、少し複雑な英文になると正確には読めない」という人が実はかなりいるということです。当然ですが、それぞれのタイプに適した学習法は異なるため、まずは正確な現状把握が必要になってきます。

1歩下がって自身の読解力を見つめ直してみましょう。例えば、これまでを受けたTOEIC® L&Rでリーディングのスコアがリスニングよりもかなり低かったり、旧センター試験の過去問を解いてみて、8割程度の得点が取れなかったりする場合、まずは大学受験の参考書などを使って基本文法や基本語彙の抜けている知識を補い、一定程度の英文を丁寧かつ正確に読むスキルを磨く方が遠回りに見えて実は近道になるはずですよ。

一方、従来のイメージに当てはまる人、つまり、精読の力はあるのにリスニングや会話が苦手という人は、スピードアップがポイントになってきます。難しめの大学入試英文もきちんと理解できるのにリスニングが全くできなかったり、TOEIC® L&Rのリーディングセクションで時間が足りなくなったりする

のは理解するスピードの遅さが原因です。こういう人は時間をかければTOEIC® L&Rレベルの問題の多くを自力で解けるはずなので、模擬試験が収録された問題集を使って解く速度を高める練習をしても良いでしょうし、また、インターネット上の著名人の講演やインタビューなどのうち、スクリプトが手に入るものを用いてディクテーションの練習などをするのもおすすめです。

もちろん、新聞記事や雑誌記事、あるいはヒット小説など、自分の好きなテーマの英文を読んでいくことも効果的です。特に時事英文の場合、最初のうちは「The Japan

News」や「The Japan Times」など日本のニュースを多く取り上げている英字新聞を活用するのが良いと思います。語学的に難しいところも背景知識で補うことができるため、継続しやすいからです。ただし、語彙力の面では注意が必要です。英字新聞であれ小説、エッセイであれ、大学受験レベルまでの単語力だけではなかなか歯が立たないのが現実です。同時並行でポキャブリービルディングも行う必要があります。10,000語～15,000語レベルの単語を主に扱った『WORD SMART』や『Word Power Made Easy』などの母語話者向けのポキャブ本が役立つかもしれません。

こういった時事英文や娯楽的な英文は、一見、仕事で使用する事務的な英語やTOEIC® L&Rなどで出てくる英語とはかなり差があり、遠回りのように感じるかもしれませんが、

多様な英語の文章や文体に触れることで、1つ1つの文法や語句の理解にも深みが出るため、英語力の土台をより強固なものにするきっかけになります。日々のコミュニケーションをより豊かにしたいと考えている人はもちろん、試験のスコアが伸び悩んでいる人にも突破口を見いだすための対策として非常におススメできるやり方です。

Profile

きたむら・かずま 杏林大学外国語学部准教授、中央大学法学部兼任講師。1982年兵庫生まれ。慶應義塾大学大学院後期博士課程単位取得満期退学。滋賀大学などの非常勤講師、杏林大学外国語学部助教、講師を経て、現在に至る。著書に『英文解体新書 構造と論理を読み解く英文解釈』(研究社)、『英語の読み方 ニュース、SNSから小説まで』(中央公論新社)などがある。

Study 1

英文読解からの視点

現状把握の基準は「正確に読む力」

読解力別の効果的学習法

杏林大学外国語学部准教授

北村 一真氏

Point

自身の英文読解力を分析する

英文読解が苦手 ▶ 基本文法・語彙の知識を補う

英文精読の力がある ▶ 多様な英文に触れる



私は英語学習におけるつまづきを「英語病」と呼んでおり、それらを解消することの重要性を日頃から発信しております。

私がまずお伝えしたいのは、日本人には既に、英語ができる／話せる素地がある——ということです。それは中学・高校における英語教育の成果であることは間違いありません。

英語における日常会話の約8割は中学英語に相当する、基本的なボキャブラリーで行われています。それなのに、多くの学習者が「自分は英単語を知らないからしゃべれない」と考えて、単語やフレーズを新たに覚えようとしません。これは、自分の持つ力を無闇に否定してしまう「アイキャント症候群」という英語病——。既にボタンの掛け違いが起きているのです。

中学英語は、ほとんどの方が既に知っています。知識があるにもかかわらずうまく英語でしゃべることができないのは、実際にその知識を使った経験が乏しく、実用的な知識として身につけていない「知識肥満症」です。その状態で単語などを覚えても、活用できない余計な知識が増えてしまうだけなのです。

大切なのは、新たなことを覚えようとする「足し算」ではなく、むしろ「引き算」です。余計な知識は一旦忘れてしまい、自分が既に知っている知識を最大限に生かすところにフォーカスすることをオススメします。

また、いくら学んでも、英語がうまく話せるようにならないことから

「英語は難しい」とってしまう人も少なくありません。実はそれも勘違いであり、難しいのは英語ではなく、「皆さんの頭の中にある日本語」なのです。

例えば、山田さんという男性について「彼は頑固だ」と思ったとします。これを英語で表現しようとして“He is...”で言葉に詰まってしまうのは「直訳スピーキング病」です。そもそも「頑固な」に当たる英単語(例えばstubborn)は中学英語ではありませんから、知らなくても仕方ありませんし、わざわざ暗記をする必要もありません。ここで、頭の中の日本語をほぐす学習法が有効で、そのコツは「動詞で考える」ことです。頑固な山田さんは、一体何を／しないのでしょうか？

Study2

発想転換からの視点

今ある英語力で会話はできる 大切なのは発想力の鍛え方

イングリッシュ・ドクター®

西澤 ロイ氏

Point

日本人には英語を話せる素地がある

動詞に着目し、頭の中の日本語をほぐす

発想力を鍛え、英語力を高める

例えば「他人の話を“聞かない””と言えるかもしれませんが。そうするとlistenという動詞を使って“He doesn't listen to other people.”のように表現できるでしょう。また、「自分の意見に“固執する””と考えると“He sticks to his own opinions.”といった英文も作れるかもしれません。こうやって、自分が既に知っている、シンプルな言葉を使って表現しようと心掛けることが大切なのです。

さて、「既に持っている力を生かす」という視点は、ビジネスや経営においても、共通して大事なポイントだと言えます。ビジネスで、経営

資源(ヒト、モノ、カネ、情報、時間など)が潤沢にあることは稀です。リソースが足りない中で、何とか工夫して課題の解決を行っていく必要があり、だからこそ「革新(breakthrough/innovation)」につながるとも言えます。

英語学習においても、十分な英語力やボキャブラリーを持つ日は(残念ながら)訪れないと考えた方が健全です。外国語である以上、不自由は永遠に付きまといます。ですから、少しくらい足りなくても、既に持っている英語力で「何とかする(manage)」ことが大切です。もちろん、英語力が高いに越したことはありませんが、**違いを生むのは、自分が持っている力を最大限に生かすための「発想力」**なのです。それがあれば、高めた英語力やビジネスコミュニケーション力をさらに発揮できるようになり、学習という投資への



のリターンも大きくなります。

是非発想力を鍛え、そして、英語力も一緒に高めていってください。そうすることで、ビジネスにおいても、英語を使ったビジネスコミュニケーションにおいても、皆さんがさらなる活躍をされ、そして革新を起こされますことを心より応援いたします。

Profile

にしざわ・ろい イングリッシュ・ドクター®。1977年北海道生まれ。獨協大学英語学科卒業。大学で言語学を専攻し、アメリカ留学を通じて、英語でコミュニケーションが取りやすくなる「発想法」を研究。その後、英語上達法を研究し、現在では、企業研修、英語講座、独自教材などを通じて、多くの英語学習者に影響を与えている。「英語を話したいなら、まずは日本語の話し方を変えなさい!」(SBクリエイティブ)など著書多数。

日本国内で暮らしながら 週3回必ず英語を使い交流するシェアハウス

継続的に英語を学ぶことができる 環境を提供する

コロナ禍により、海外への留学やワーキングホリデーをはじめ、国際的な人の往来が難しい状況が長期化しています。このような状況を受けて、ボーダレスハウス株式会社は、2021年9月より、シェアハウスで共同生活を送りながら英語力向上を図る、「English Only Policy! EOPハウス」の提供を開始しました。

もともと同社は、外国人と日本人と一緒に暮らし、お互いの価値観を交流させる超多国籍シェアハウス（ボーダレスハウス）を提供してきましたが、コロナ禍により、外国人入居者が減少。それに伴って、一部の日本人も退去するといった状況が生じていました。一方で、留学に行けなくなった方などから、英語を学びたいという問い合わせが増えてきました。そこで、ボーダレスハウスの入居者と退去者を対象に、お互いの言語を学び合うことのできる交流相手を同社がマッチングする、「Language Exchange」プログラムの提供を20年4月に開始。次第に利用者などから、継続的に英語を学ぶことができる場が欲しいといった問い合わせが寄せられるようになりました。

ニーズに応える形で、日本人、中でもコロナ禍の影響が大きい、留学やワーキングホリデーを検討している方などをターゲットにした、EOPハウスが考案されたのです。「従来のボーダレスハウスは、国際交流が主な目的でしたので、英語を使わなくてはいけないとい

った物件は、特に用意していませんでした。週3日は必ず英語を話すことができるというのが、従来のハウスとの大きな違いです」と話すのは、同社国際交流シェアハウスハウスマネージャーの細木拓哉氏です。



ボーダレスハウス株式会社国際交流シェアハウスハウスマネージャーの細木拓哉氏

週3日のEnglish Only Dayや 英語レッスンで交流しながら英語力を磨く

EOPハウスは、東京に1軒、京都に2軒あり、東京は主に社会人が、京都は主に大学生が住んでいます（21年11月現在）。



ネイティブスピーカーとの英語レッスンの様子

最大の特徴は、ハウス内では必ず英語で話さないといけないEnglish Only Dayを週3日設定していることです。現状では、日本人入居者のほぼ全員が初中級程度程度の英語力のため、ときに苦戦しながらも、励まし合って英語で会話をしています。

また、近隣にあるボーダレスハウスに住むネイティブスピーカーのパートナーが、講師役として月2回訪問し、全て英語で行うレッスンを実施。内容は入居者の希望に沿うようにしており、東京ではフリートークや英語を使ったプレゼンテーションの練習などを行い、京都ではTOEIC® L&Rなどのテストに向けた学習のサポートをしています。他にも入居者は、外部のオンライン英会話学校が提供する授業を月4回、無料で受けたり、先述のLanguage Exchangeプログラムを活用したりしながら、英語力を磨いています。

今後について細木氏は、「ネイティブスピーカーのパートナーを増やし、レッスン回数も増やすとともに、国・地域による英語の違いを学ぶことができるようにするなど、内容に広がりを持たせたいと思っています。また東京では日本人入居者が定員に達しているため、物件数を増やしていきます」と語ってくれました。物件数を増やすことで、物件ごとに異なる英語レベルを設定するなど、より幅広い層の方に英語を学ぶ場を提供したいと検討が進められています。

さらに、海外との往来が可能になった後にも、ハウス内では英語で話したいという外国人や、費用などの理由で留学を断念した日本人らの受け皿になり得るのではないかと細木氏。英語を学ぶ人々の背中を力強く後押しする取り組みは、入居者の声に耳を傾けながら一層の進化を続けています。

■「TOEICの日」オンラインイベント

英語の「楽しさ」を実感できる3つのイベントを実施



IIBCは一般社団法人日本記念日協会(加瀬清志代表)の認定を受け、10月19日を「TOEICの日」と制定しました。

この機会に、改めて1人でも多くの方に英語の「楽しさ」を感じていただき、英語への興味・関心を高められることに寄与したいという思いから、この日を含む2021年10月13日から11月1日の期間に、3つのオンラインイベント「1019人で英語謎解き」「オンライン講演会」「Twitterキャンペーン」を実施しました。

10月19日は、Twitter上で「TOEICの日」がトレンド入りするなど、多くの方に注目していただきました。

1019人で英語謎解き

英語の上級者に上達の秘訣を聞くと、「英語を使って何かに取り組むこと」という答えがよく返ってきます。実際に英語を使える喜びや、上達したという実感が、学び続けるモチベーションにもなるからです。そこで、「1019人で英語謎解き」というイベントを企画しました。

10月19日からの申し込みの開始に向け、俳優の井上祐貴さんと「ZIP!」(日本テレビ系)でおなじみのパンダの星星が、このイベントに参加するために謎を解いていくという告知動画をTwitterと公式サイトで公開しました。当日の10月29、30日には、TOKYO GLOBAL GATEWAYのイングリッシュスピーカー2名がMCを務める中、抽選で選ばれたチームが、英語で出題された謎に挑戦。

盛況のうちに終了し、「英語謎解きは新鮮で楽しかった」といったご好評の声を多数いただきました。



星星と井上祐貴さん(右)



「TOEICの日」のスクリーンを背景にMCを務めたイングリッシュスピーカーのお2人

オンライン講演会

「TOEIC® Listening & Reading Testをフル活用！使える英語の効果的習得法」と題して、10月19日から11月1日まで、オンラインで視聴できる講演会を実施。モチベーションを保ちながら、“楽しく”英語を習得する方法を、ベテラン講師の千田潤一氏が1時間にわたって伝授しました。全国から多くの

方にご視聴いただき、「モチベーションがアップしました。目標を設定してがんばります!」「英語は勉強ではなく、トレーニングということを知り、励みになりました」といった声が多く寄せられました。

Twitterキャンペーン

「TOEICの日」を改めて“英語学習の目標設定をする日”として活用することができるように、「TOEIC® Testsの目標スコアと英語で実現したいこと」を、“# TOEICの日に目標宣言”を付けTwitter上でつぶやいていただきました。その中から抽選

で10名の方に、『公式TOEIC® Listening & Reading 問題集8』とIIBC特製ファイルをプレゼント。多くの方々に宣言をしていただきました。ありがとうございました!

公開テストスケジュール

公開テストスケジュールは変更されることがございますので、最新の情報は公式サイトでご確認ください。

TOEIC® Listening & Reading Test



回数	試験日	申込期間 ^{※1}	結果発送予定日
第290回	2022年 3月20日(日)午前	2022年 1月25日(火) ~ 2022年 1月31日(月)	2022年 4月19日(火)
第291回	2022年 3月20日(日)午後	2022年 2月 1日(火) ~ 2022年 2月 7日(月)	2022年 4月19日(火)
第292回	2022年 4月24日(日)午前	2022年 3月 1日(火) ~ 2022年 3月 7日(月)	2022年 5月24日(火)
第293回	2022年 4月24日(日)午後	2022年 3月 8日(火) ~ 2022年 3月14日(月)	2022年 5月24日(火)
第294回	2022年 5月29日(日)午前	2022年 3月29日(火) ~ 2022年 4月 4日(月)	2022年 6月28日(火)
第295回	2022年 5月29日(日)午後	2022年 4月 5日(火) ~ 2022年 4月11日(月)	2022年 6月28日(火)
第296回	2022年 6月26日(日)午前	2022年 5月 2日(月) ~ 2022年 5月 9日(月)	2022年 7月26日(火)
第297回	2022年 6月26日(日)午後	2022年 5月10日(火) ~ 2022年 5月16日(月)	2022年 7月26日(火)
第298回	2022年 7月24日(日)午前	2022年 5月31日(火) ~ 2022年 6月 6日(月)	2022年 8月23日(火)
第299回	2022年 7月24日(日)午後	2022年 6月 7日(火) ~ 2022年 6月13日(月)	2022年 8月23日(火)

TOEIC® Speaking & Writing Tests

TOEIC® Speaking Test



試験日	申込期間 ^{※1}	結果発送予定日
2022年 3月27日(日)	2022年 2月 4日(金) ~ 2022年 3月11日(金)	2022年 4月26日(火)
2022年 4月17日(日)	2022年 3月11日(金) ~ 2022年 4月 1日(金)	2022年 5月17日(火)
2022年 5月15日(日)	2022年 4月 1日(金) ~ 2022年 4月28日(木)	2022年 6月14日(火)
2022年 6月12日(日)	2022年 4月28日(木) ~ 2022年 5月27日(金)	2022年 7月12日(火)
2022年 7月10日(日)	2022年 5月27日(金) ~ 2022年 6月24日(金)	2022年 8月 9日(火)

TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests



回数	試験日	申込期間 ^{※1}	結果発送予定日
第82回	2022年 3月 6日(日)	2021年10月18日(月) ~ 2022年 1月27日(木)	2022年 4月 8日(金)
第83回	2022年 6月19日(日)	2022年 1月31日(月) ~ 2022年 5月19日(木)	2022年 7月22日(金)

TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests



試験日	申込期間 ^{※1}	結果発送予定日
2022年 3月13日(日)	2021年11月 5日(金) ~ 2022年 2月25日(金)	2022年 4月15日(金)
2022年 6月19日(日)	2022年 2月25日(金) ~ 2022年 6月 3日(金)	2022年 7月22日(金)

(※1) 個人でお申し込みいただく際の申込期間です。申込開始および締切時間については公式サイトでご確認ください。

本誌は公式サイトでもご覧いただけます。

https://www.iibc-global.org/iibc/activity/iibc_newsletter.html



IIBC

世界は、あなたでつながる。

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
The Institute for International Business Communication

IIBC公式サイト <https://www.iibc-global.org>

外部からの寄稿や発言は、必ずしも当協会の見解を表明するものではありません。

【お問い合わせ】

東京

名古屋事業所

大阪事業所

東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル

愛知県名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル

大阪府大阪市中央区博労町3-6-1 御堂筋エスジービル

TEL.03-5521-5901

TEL.052-220-0282

TEL.06-6258-0222

ETS, the ETS logo, PROPELL, TOEIC and TOEIC BRIDGE are registered trademarks of ETS, Princeton, New Jersey, USA, and used in Japan under license. Portions are copyrighted by ETS and used with permission.